

行政視察内容報告書

令和2年3月18日

土佐清水市議会議長
永野裕夫 様

会派名 新風会
(提出者) 氏名 弘田 条



下記のとおり報告します。

項目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	永野裕夫 細川博史 弘田条 計 3 人
期 日	令和2年2月15日～16日
【概 要】(年月日・場所・内容・所感)	
場 所	室戸世界ジオパークセンター・むろと廃校水族館・荒川電工(高知市)
内容・所感	<p>①室戸世界ジオパークセンター</p> <p>平成23年に世界ジオパーク加盟認定により交流人口の増加を図り、地域の活性化を推進し、人口減や観光入込数が減少することの対応のため。観光を主とした地域振興を推進するために、世界ジオパーク認定を目指した取組が始まった。</p> <p>室戸ジオパークのテーマは、「海と陸が出会い、新しい大地が誕生する最前線」。これは室戸沖約140kmに位置する南海トラフにおいて周期的な大地震やそれに付随する1000年あたり平均2mという驚異的な速度の地殻隆起によって特徴づけられている。これらのプレート運動によって形成された海成段丘などの地質や地形が、室戸ジオパークの特徴であり自然遺産となっている。</p> <p>センター内では、まずジオシアターで室戸の大地・海・文化を立体感あふれる画像で体験でき、大地と共に暮らす室戸の人々の姿を紹介してくれる。また、南海トラフを3Dメガネで体験できるコーナーでは、大地と海が立体で見えて、四国と太平洋の陸と海がわかりやすく体験でき貴重な体験をさせていただいた。</p> <p>②むろと廃校水族館</p> <p>世界ジオパークセンターのすぐ近くにむろと廃校水族館があり、2施設ともぜひ訪問してほしいと思う。</p> <p>室戸市の椎名小学校が廃校になり12年たち、2018年に「むろと廃校水族館」に生まれかわった。25mプールは屋外大水槽に、図書室、理科室、家庭科室はそのままの機能を活かしている。学校ならではの特徴を活かした水族館となっている。</p>

この水族館に入った時、関心したのはすごいアイデアのある人がいると思った。例えば、ローカの手洗いを利用して水槽や展示コーナーなど巧みに展示している。教室の中に大きな水槽があったり、屋外のプールが大水槽など学校を最大限利用した施設と思った。

また、利用者も廃校ということで気軽に利用しやすいのではないかと感じた。

③荒川電工(高知市)

荒川電工では、現在進行中の今ノ山風力発電について学習した。

同時進行のジャパンウィンドウエンジニアリングについては、令和元年9月会議で一般質問を行い計画を把握していたが、もう片方の日立サステナブルエナジーについては、計画を把握してなかったので大変参考になった。

計画内容について

名 称:(仮称)今ノ山風力発電事業

事業者:日立サステナブルエナジー株式会社

出 力:最大38,000Kw (38Mw)

基 数:9基

位 置:土佐清水市、三原村の行政界付近

手続について

平成29年3月配慮書作成

令和元年方法書を作成し、令和元年12月20日には、三崎市民センターで説明会を開催。

今後は、環境調査、準備書、評価書、事後調査、報告書の順で作業を進めていくとのこと。

今回の視察で、2業者が同時進行しており、日立サステナブルエナジーの説明を聞くことでほとんどの内容がわかった。

最近では、今ノ山風力発電事業についての問い合わせも多くなったが、今後の市議会定例会での一般質問や住民との会話の中で、問題点などを説明しながら対応していきたいと考えている。